

校報かめのこ

福生六小ホームページ <https://fussa-6e.hs.fussa.school/>

か	考える子
め	めげない子
の	伸びる子
こ	心豊かな子



大舞台の陰で

福生市立福生第六小学校

副校長 岡野 厚実

冬の澄んだ空気がいっそう深まるこの季節。イタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォでは、「ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック・パラリンピック」が開催されます。華やかな都市ミラノと、アルプスの自然に抱かれたコルティナという二つの舞台に、世界中の人々が心を寄せる特別な祭典です。

ニュースで見る選手たちの姿はどれも輝いています。しかし、その輝きは、思うようにいかなかった日や悔しさに涙した日乗り越え、努力を積み重ねてきた結果です。氷や雪の上での力強い動きや美しい技の一つひとつに、長い年月の挑戦の物語が刻まれています。

これは学校生活にもそのまま重なります。結果がすぐに出ないとき、友達とうまくいかないとき、落ち込むこともあるでしょう。けれども、そんなときこそ大切にしてほしいのが「どうしたら解決できるだろう」「もう一度やってみよう」という前向きな気持ちです。考え、挑戦し続ける姿勢こそが、子どもたちの力となり成長につながります。

本校では2月14日に「六小祭り」があります。3年生以上はクラスごとにお店をつくります。準備の過程では、きっと悩んだりぶつかったりする場面があるはずですが、そのときこそ仲間と知恵を出し合い、よりよいものをめざして挑戦を続けてほしいと願っています。

世界が一つになってスポーツを楽しむオリンピック・パラリンピックのように、「六小祭り」が子どもたちに大きな勇気をもたらし、「一人でもできる子、みんなともできる子」を実感できる機会になることを心から期待しています。